



▲朝早くから多くの人に参加した、厚陽地区の清掃大会。厚狭川沿いの土手が見る間にきれいになりました。

河川・海岸功労者 受賞

30年以上続く清掃活動の功績を認められ、この度『山陽環境衛生連合会』が「河川功労者」と「海岸功労者」を同時に受賞、全国表彰されました。連合会は、山陽地区内の河川や海岸で草刈りなどを行う清掃大会を毎年主催。今ではすっかり地区住民に定着した活動となっています。美しいふるさとの景色は、こうした地道な活動に支えられているのですね。



▲「茶摘みの歌」に合わせて踊るNPO有帆会のみなさん。

有帆のホタルまつり

6月11日、有帆運動広場で「ホタルまつり」が開催されました。地元の小学生たちが歌うほたるの歌と、児童館のダンシングチームが踊るマツケンサンバで祭りがスタート。特設ステージでは、マジックショーや舞踊なども披露され、祭りを盛り上げました。星が空に輝きはじめるころには、運動広場のそばにある有帆川ホタル公園に、ゲンジボタルが1匹、また1匹と光を放ちはじめ、訪れた人たちの目を楽しませました。



▲「足が抜けん」「カエルがおったよ」そこらじゅうで歓声があがっていました。

出合小で田植え体験

6月9日、出合小学校5年生が「総合学習の時間」で田植えを体験しました。水を張った田に裸足で入った児童たちは、一直線に張ったロープを前にして並び、ミヤタマモチの苗を一つずつ手で植えていきました。泥だらけの手足になった田村真央さんは、「田植えは初めてで大変だったけど、これからの苗の成長が楽しみです。」と、笑顔で話してくれました。



▲手品の披露に、「袋の中を見せて」とステージに集まる子どもたち。

寝太郎の里ほたるまつり

6月4日、寝太郎公園ゆめ広場を会場に、「寝太郎の里ほたるまつり」が開催されました。広場では、野外ステージを取り囲むように出店が並び、よさこい踊りやバンド演奏などのステージイベントを楽しむ人でごった返し、身動きがとれないほど。夜8時ごろには、厚狭川に流れ込む石束川で、ゲンジボタルが飛びはじめ、美しい光の舞いを、多くの人が息をのんで見つめていました。